



江戸の薫り残し今も賑わう「神楽坂」
標準木の靖国神社を訪ねる

平成 31 年 3 月 27 日 (水)

神楽坂

＊江戸名所図会より＊

牛込の御門より外の坂をいへり。坂の半腹（はんぷく）右側に、高田穴八幡（たかだあなはちまん）の旅所（たびしょ）あり。祭礼のときは神輿（しんよ）このところに渡らせらる。そのとき神楽を奏するゆえに、この号（なずく）ありといふ（あるいは云ふ、津久戸明神（つくだみょうじん）、田安（たやす）の地よりいまのところへ遷座（せんざ）のとき、この坂にて神楽を奏せしゆえにしか号（なず）くとも、また若宮八幡（わかみやちまん）の社（やしろ）近くして、つねに神楽の音この坂まできこゆるゆえなりともいひ伝へたり）。

江戸名所図会とは？

「江戸名所図会」は、江戸は神田の名主であった齋藤家の幸雄・幸孝・幸成（月峯）の三代 30 年に亘り書き継がれ、江戸のガイド本として、天保 7 年（1836）に刊行（全 7 巻 20 冊）されました
挿絵の鳥観図は長谷川雪旦が担当し、これも有名です。

① 筑土八幡神社



社伝によれば、神社の起源は弘仁年間（810-824）に豊前（大分）の宇佐八幡宮（八幡宮の総本社）の土を取り寄せて鎮守としたという。

ご祭神は、応神天皇、神功皇后、仲哀天皇（日本武尊の次男）

- ・江戸時代には門前町があつて賑わい、樹木も多く、戦前までは筑土の森と称された。しかし、戦災で焼けてその面影は失われてしまった。急な石段の途中に石造りの明神鳥居がある。常陸藩主の黒田豊前守直邦が享保 11 年（1726）に寄進したものである。
- ・境内には、珍しい二猿の庚申塔がある。また、作曲家・田村虎蔵の顕彰碑がある。田村虎蔵先生は上野音楽学校の教授となり「キンタロウ」「花咲爺」「浦島太郎」「牛若丸」「一寸法師」「大黒様」などを作曲し現在でも愛唱される唱歌が多い。

② 寺内公園

（案内板より）



この寺内公園の一帯は、鎌倉時代の末から「行元寺」という寺がありました。ご本尊の千手観音は太田道灌、牛込氏はじめ多くの人々が信仰したと伝えられています。

江戸中期の天明 8 年（1788）、境内の東側が武家の住まいとして貸し出されました。この中に貸地通行道という、人がやっとすれ違える細い路地ができました。

安政 4 年（1857）この一部が遊行の地となり神楽坂の花柳界が発祥し

たと伝えられています。

「行元寺」は区画整理により明治 40 年（1907）に品川・大崎に移転しました。

この跡地は寺内と称され、味わい深い路地のある粋な花柳界として毘沙門様の縁日とともに多くの人々に親しまれ、山の手随一の繁華街として賑わってきました。

また、柳家金語楼、女優花柳小菊、勝新太郎、芸者神楽坂はん子などが寺内に住んでいました。

③ 黒堀横丁



神楽坂の「坂」は、江戸時代にはもっと急な坂であった。明治 10 年 (1877) に坂上を掘り下げて、よりゆるやかな坂とした。坂の両側には商店がびっしり並び、東西に横丁が走る。神楽坂 3 丁目や 4 丁目の横丁に入り込めば、路地は迷路のように続き、石段や石畳の道がひっそりとたたずむ。

そして黒堀に囲まれた料亭が見えてくる。山の手にありながら下町らしさを残す街でもある。

④ 毘沙門天の善国寺



山の手七福神の一つでもある。毘沙門天像を安置する善国寺は文禄 4 年 (1595) 麹町 6 丁目に創建されました。寛政 5 年 (1793) に現在地に移転してきました。“神楽坂の毘沙門天”として、江戸時代から信仰をあつめ、“行元寺”と共に神楽坂一帯の門前町として発展してきました。

寺伝では、毘沙門天像は、開山の日愼上人が関白・二条昭実から賜れたものとなっているが、一説には加藤清正の守仏とも云われています。

毘沙門天像は甲冑具足に身を固め、左手に宝塔、右手に宝棒を持ち、夜叉鬼を踏みつけて立つありさまは、いかにも頼もしいお像です。像高は 30 ㍍、黒漆塗りで室町～江戸時代初頭の作とされています。

⑤ 検番



・ 検番とは芸者と料亭をつなぐ芸妓組合の連絡事務所。芸者の客席への取次や玉代（芸者がお客から貰う金）の計算、芸者置屋の管理などの仕事を行った。

⑥ 若宮公園



・ 江戸の武家屋敷の面影を残し、趣がある公園。公園正面の冠木門（かぶきもん）や公園を囲んだ白壁・門柱が江戸時代を彷彿させます。公園内には梅や花林（かりん）の樹木が多数植えられています。

・案内板には、江戸時代の振袖火事 (1657) 以降、牛込地区に武家に移り住み、武家屋敷中心の町が形成されたと云われています。

⑦ 若宮八幡神社



・ ご祭神は、仁徳天皇。左の絵は江戸名所図会の挿絵です。内容は、文治 5 年 (1189) の秋、右大将源頼朝卿 (1147-99)、奥州の藤原泰衡を征伐せんがために発向す。そのとき宿願ありて、奥州平治の後、当社を営み、鎌倉八幡宮を移し奉らるるといへり（若宮は仁徳天皇なり。後、応神天皇に改め祀るといふ）

・ 文明年間 (1469-87)、太田道灌 (1432-86) 江戸城鎮護のため当社を再興し、社檀を江戸城に相對せしむるとなり。（江戸名所図会より）

⑧ 逢坂と堀兼の井



- ・ 逢坂は大坂とも美男坂ともいう。奈良時代、武蔵の国守として都から来た、小野美佐吾と美女さねかづらが、この坂で逢瀬を重ねたという。
- ・ ここは昭和の初めまで井戸跡があった。説明板には、継母にいじめられた悲しい少年の物語が書かれている。

⑨ 最高裁長官公邸



- ・ 富山で海運業を営んでいた、馬場家の牛込邸として昭和 3 年に建築された。敷地 1200 坪、建坪 300 坪の木造。昭和 22 年最高裁長官公邸となる。昭和 26 年に国指定重要文化財となる。

⑩ 朝霞荘



- ・ 建築家・黒川紀章が設計。昭和 62 年竣工。外壁はベンガラ色、地下 1 F、地上 2 F 鉄筋コンクリート造り、建坪約 170 坪 損保ジャパンの厚生施設。

⑪ 浄瑠璃坂の仇討

寛文 8 年 (1668) 3 月 2 日下野興禅寺 (宇都宮市) で、宇都宮藩主・奥平忠昌の法要において、奥平内蔵允と奥平隼人の 2 人が口論となり、内蔵允が隼人に抜刀した。同輩の兵頭玄蕃が仲裁しその場は収まった。だが、その夜に内蔵允は切腹した。

藩の処分は半年を経て 9 月に下された。隼人は改易。内蔵允の嫡子・源八 (当時 12 歳) 並びに内蔵允の従弟伝蔵正長へは家禄没収の上追放が申し渡された。両成敗ならば、隼人は切腹となるはずなのに、それは免れた。隼人ら親子は江戸の旗本・大久保助右衛門の屋敷に身を寄せた。

その処分は不公平であると追放された源八とその一族に同情



して自ら浪人となって助太刀をしようという奥平家の藩士は 40 数名におよんだ。

源八一党からの報復を不安視した隼人は浄瑠璃坂の鷹匠頭・戸田七之助の屋敷に身を移した。

事件から 4 年の歳月を経た寛文 12 年 2 月 3 日の未明、源八と 42 名の一党は、隼人の潜む鷹匠頭の戸田屋敷に討ち入った。しかし、隼人を討ち果たせず源八一党は引き上げた。

牛込御門まで来たところ、隼人

が追ってきた。

そこで源八は隼人と対決し討ち取った。

源八は幕府に出頭し裁きを委ねた。源八の殊勝な態度に感銘を受けた大老・井伊直澄による幕閣への影響で、死一等を減じて伊豆大島への流罪となった。

流罪から 6 年後、天樹院 (千姫) の 13 回忌追善法要にともなう恩赦により赦免され、源八は彦根藩井伊家に召し抱えられた。

源八の一族 42 名の徒党を組んで火事装束に身を包み、明け方に火事を装って浄瑠璃坂の屋敷に討ち入ったという方法などは、30 年後に起こる元禄赤穂事件において赤穂浪士たちが参考にしたとされている。

(坂本俊夫著「浄瑠璃坂の仇討ち」を参考)

DNP
PLAZA

⑫ DNP アニメ

- ・ アニメの最先端の展示や、物品の販売、喫茶の場もあり見学の価値あります。



⑬ 江戸定火消の発祥の地

- ・ 明暦の大火 (1658) の後、旗本が中心となって幕府直属の火消隊として 10 組が組織された。その発祥の地。

⑭ 茶の木稲荷神社



(市谷亀岡八幡宮のHPより)

- ・ ご祭神は、稲荷大神、保食神（うけもちのかみ）

弘法大師空海（774-35）が西暦 800 年代に関東に下向された時に創祀されたとのこと。もともこの地域の鎮守であった。

後に亀岡八幡宮が稲荷山に太田道灌によって遷座し、当社は地主神として、亀岡八幡宮の摂社となった。

- ・ 眼病平癒に靈驗新たかと云われています。伝説では「稲荷大神のお使いの白キツネ」が茶の木で目を突いてけがしたことから、崇敬者は正月三ヶ日お茶を断つと病気が治ると云われているということで、特に眼病の人に靈驗があるということです。

⑮ 亀岡八幡宮



- ・ ご祭神は、第 15 代応神天皇、神功皇后（じんぐうこうごう）、比売神（ひめがみ）

・ 市谷亀岡八幡宮は、文明 11 年（1479）太田道灌が江戸城西方の守護として、鶴岡八幡宮のご分霊を勧請し、鶴岡に対して亀岡と称したのが創祀とされる。

当初の鎮座地は市谷御門内であったが、寛永年間（1624-44）、外濠の完成に伴って「茶の木稲荷神社」境内の現在地に遷座しました。

江戸時代は江戸の八所八幡の一に数えられ広く信仰され今日に至っています。

文化財として、太田道灌が奉納された軍配団扇があります。

⑯ 靖国神社



＊ 御由緒 ＊ (靖国神社 HP より)

- ・ 明治 2 年（1869）招魂社として建立された。
- ・ 国家のために尊い命を捧げられた人々の御霊を慰め、その事績を永く後世に伝えることを目的とする。
- ・ 明治 12 年（1879）、社号は「靖国神社」と改められた。
- ・ 靖国とは「国を靖（安）んずる」という意味で、靖国神社には「祖国を平安にする」「平和な国家を建設する」という願いが込められている。

＊ 御祭神 ＊

戊辰戦争やその後に起こった佐賀の乱、西南戦争といった国内の戦いで、近代日本の出発点となった明治維新の大事業遂行のために命を落とされた方々はじめ、明治維新のさきがけとなって葬られた「坂本龍馬」「吉田松陰」「高杉晋作」「橋本左内」といった歴史的に著名な幕末の志士達、さらに日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦、満州事変、支那事変、大東亜戦争（第二次世界大戦）などの対外事変や戦争に際して、国家防衛のために、ひたすら「国安かれ」の一念のもと、尊い生命を捧げられた方々の神霊が 246 万 6 千余柱祀られております。この御霊がご祭神となられております。



＊ 参考 ＊

靖国神社の境内には、「神池」「相撲土俵」「茶室」や「大村益次郎像」があります。また、幕末江戸の三大剣道場の一つ「斎藤弥九郎の練兵館（長州藩桂小五郎が塾頭を勤めていた）」跡や、東京のソメイヨシノの開花標準木があります、

東京都新宿区神楽坂3丁目 付近



4,400 相当

(C)2015 Shobunsha Publications, Inc.

地図上の1センチは 約 44 メートル
印刷中心は 東経 139度44分25秒 北緯 35度42分 6秒

東京都新宿区市谷田町2丁目 付近



5,800 相当

地図上の1センチは 約 58 メートル
印刷中心は 東経 139度44分12秒 北緯 35度41分43秒